

わたしたちが **つくる**

**エコ・キャンパス。**



**Eco Campus Fact Sheet 2003**

西早稲田キャンパスは、2000年6月2日、ISO14001規格の認証を取得しました。1999年以降、大学では、環境問題について社会に対する大学の姿勢を明確にするとともに、客観的に評価される体制を確立するため、環境マネジメントシステムの構築について積極的に取り組んできました。国内の大学としては4例目。環境分野と直接関係のない既存学部・大学院を中心とした大規模キャンパスとしては国内で初めてのことです。



# 早稲田大学環境宣言

## 早稲田大学環境方針

早稲田大学は、グローバルな視野とローカルな魂を持つ地球市民の育成と地球規模の課題に対する組織的な取り組みによる人類の未来への貢献という、21世紀にふさわしい大学づくりをめざしている。

そして、早稲田大学は、「地球環境の保全」という地球規模の課題に対し、教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じて、社会の一員として先見性と積極的な姿勢をもって取り組む責務があることを認識する。

そこで、早稲田大学は、さまざまな局面において展開されている環境負荷の低減や循環型社会の実現に寄与する活動を統合して、環境マネジメントシステムを構築し、次の活動を積極的に推進する。

- 1 早稲田大学は、地球環境の保全を課題とする教育、研究の推進を図り、人類に貢献する人材の育成および環境分野の研究の進展を期する。
- 2 早稲田大学は、環境にかかわる教育、研究の成果を踏まえて、地域社会をはじめとするあらゆる人々に対する教育、啓発、普及活動を積極的に展開する。
- 3 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動が環境に及ぼす影響を常に認識し、地球環境に配慮した「エコ・キャンパス」の実現をめざして、継続的に改善を図るとともに、環境汚染の予防に努める。
- 4 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動において、環境に関連する法規、規制、協定、学内規定等を遵守する。
- 5 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動が環境に及ぼす影響を調査、分析し、環境目的および環境目標を定めて、その実現を図り、定期的に見直しをする。
- 6 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動において、地球温暖化低減策の推進、グリーン購入の推進、エネルギー使用量の削減、廃棄物発生量の削減、資源のリサイクルの向上に努める。
- 7 早稲田大学は、あらゆる人々に環境方針を公開し、「地球環境の保全」の取り組みに対して、理解と協力を求める。
- 8 早稲田大学は、西早稲田キャンパスを手始めとして環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図るとともに、学生、教職員および早稲田大学にかかわる人々にその全容を周知する。

学校法人 早稲田大学  
総長

## ACTION

# 1

### ▶ 水使用量の削減

西早稲田キャンパス、戸山キャンパス、大久保キャンパス、所沢キャンパスの2002年度水使用量は合計349,870m<sup>3</sup>。大学では節水コマを設置するとともに、女子トイレには、水流音発生器を導入し、水の使用量を削減するようにつとめています。

## ACTION

# 2

### ▶ ガス使用の改善

現在、大学では冬季の暖房のためのボイラー燃料として重油が使用されています。重油の燃焼により酸化生成物、窒素酸化物、硫黄酸化物が排出されますが、それらを低減するためにガス式空調設備への切替えを行っています。また、暖房機の運転においては、徹底した時間計画と温度設定をおこなっており、最小限の使用にとどめています。

## ACTION

# 3

### ▶ 電気使用量の削減

1998年度以降、空調環境の整備及びコンピュータの大規模な導入により、電力使用量が大幅に増加しています。現在、電力使用量を削減するために昼休みの消灯を呼びかけています。エコ・キャンパス推進本部では西早稲田キャンパスの教室、事務所などで毎日1時間消灯することにより、年間18万kwh削減できると見込んでいます。さらに空調機の適温設定、コンピュータやコピー機の未使用時に省エネモードにするなどにより、合計で3%程度の削減を期待しています。

## ACTION

# 4

### ▶ リサイクル率の向上

大学では、ビン、カン、ペットボトル、古紙の分別回収を徹底することにより、リサイクル率を向上させることを目指しています。1999年度から回収した古紙をトイレト紙「早稲田エコの杜」として再生し、大学で使用しています。

また、大学では、各キャンパスで不要となった備品を再利用するために学内で情報交換し、備品のリユースに成果をあげています。

## ACTION

# 5

### ▶ 廃棄物の削減

大学の年間廃棄物処理費は約5,100万円(2002年度)。環境マネジメントシステムを運用し、分別回収も徹底されてきていますが最終的には清掃員が手作業で仕分けしています。一般ゴミの6、7割が再資源化が可能と推定されています。現在、ゴミの分別回収を実施しているものの、徹底されていないのが現状です。一人一人のモラルの向上が強く期待されるところです。

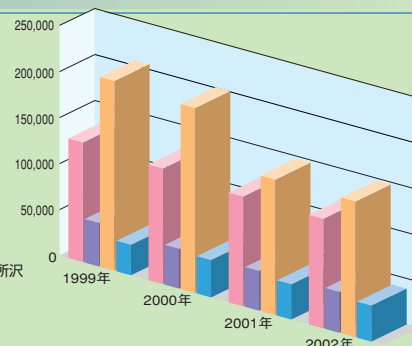
## 水使用量

水使用量は、学生**一人あたり年6.8m<sup>3</sup>**です。  
これは一人一日に水洗トイレを5回使用していることに相当します。一人一人の節水により水使用量を削減しましょう。

使用水量 (m<sup>3</sup>) 一人あたり

	1999	2000	2001	2002
西早稲田	129,923	125,687	119,201	119,091
戸山	47,137	43,017	43,015	44,233
大久保	206,187	200,986	147,202	147,526
所沢	33,132	40,424	38,199	39,020
合計	416,379	410,114	347,617	349,870

西早稲田 戸山 大久保 所沢



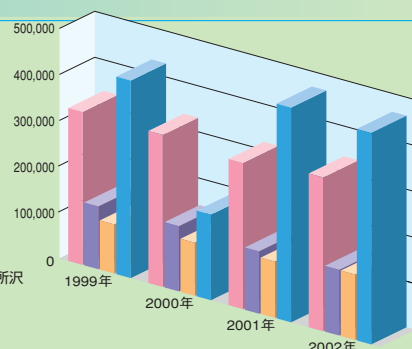
## ガス使用量

ガス使用量は**一人あたり年20.5m<sup>3</sup>**です。  
ガスの主な用途は空調機です。一人あたりに換算すると、一日に2リットルのお湯を3回沸かすのに相当します。今後、重油式ボイラーからガス式空調機への転換により使用量が増えます。

使用ガス量 (m<sup>3</sup>) 一人あたり

	1999	2000	2001	2002
西早稲田	332,522	330,609	317,704	334,266
戸山	136,411	141,777	135,364	142,759
大久保	106,760	115,327	122,294	142,329
所沢	429,440	186,085	466,825	459,968
合計	1,005,133	1,073,798	1,042,187	1,079,322

西早稲田 戸山 大久保 所沢



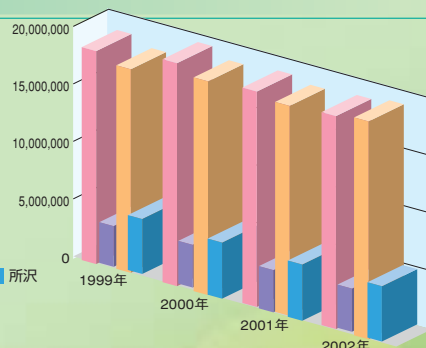
## 電気使用量

電気使用量は**一人あたり年892kwh**です。  
これは一人一日あたり蛍光灯14本を8時間使用していることに相当します。  
教室を最後出る際には、エアコン・電源をOFFにして節電にご協力をお願いします。

電気使用量 (kwh) 一人あたり

	1999	2000	2001	2002
西早稲田	18,519,064	19,390,204	18,730,545	18,515,398
戸山	3,533,184	3,713,784	3,673,022	3,754,400
大久保	17,700,800	18,584,960	18,257,040	18,944,840
所沢	4,772,952	4,877,220	4,892,400	4,808,280
合計	44,526,000	46,566,168	45,533,007	45,989,918

西早稲田 戸山 大久保 所沢



## リサイクル率

大学では、ビン、カン、ペットボトル、古紙の分別回収を徹底することにより、リサイクル率の向上を目指しています。

雑誌・新聞・本・チラシは、

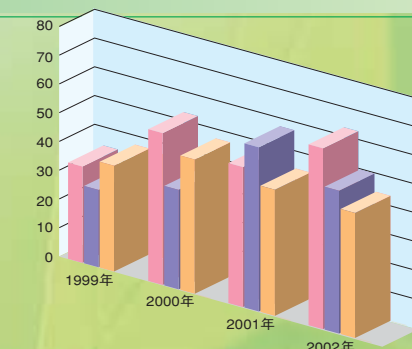
### 「紙類リサイクルボックス」へ!

ボックスに入れられた紙は、リサイクルされてトイレトペーパーとして利用しています。紙のリサイクルは森林の保護とごみの削減にもなります。ご協力をお願いします。

リサイクル率 (%) 一人あたり

	1999	2000	2001	2002
西早稲田	33.5	52.8	48.7	62.9
戸山	26.9	34.6	57.1	49.7
大久保	36.8	46.7	43.9	43.5

西早稲田 戸山 大久保



## 廃棄物発生量

廃棄物発生量は、**一人年平均24.5kg**です。

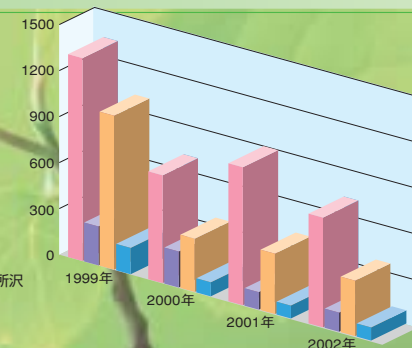
これは一人あたり一日にジュース缶2.5本を廃棄していることに相当します。廃棄物の削減と分別回収への協力をお願いします。

大学のごみの多くは弁当ガラ。これが東京湾の処分場に廃棄されています。処分場問題の不足は深刻な問題です。

廃棄物発生量 一人あたり

	1999	2000	2001	2002
西早稲田	1323.1	702.9	899.7	715.5
戸山	253.9	235.0	113.8	124.9
大久保	1004.4	347.3	393.9	362.1
所沢	171.9	91.8	83.5	85.7
合計	2753.3	1377.0	1490.9	1288.2

西早稲田 戸山 大久保 所沢



# 大学広報誌への掲載について

早稲田大学  
ウィークリー

03年 10月 2日 もう見ましたか? リサイクル弁当容器「ホッかる」本キャン進出  
11月20日 今年も大好評!ゴミ対策  
12月11日 書評 『環境危機をあおってはいけない』—地球環境の本音を知る大切さ

Campus  
Now

03年 8・9月 大学の環境・安全管理強化のために  
—環境安全管理課の設置—

新鐘

03年 6月30日 早稲田に聞け!シリーズ④ 環境

## 環境に対する提言を 受付けます!

学生、教職員は、環境マネジメントシステムに関連する事項を「環境提言書」に整理し、エコ・キャンパス推進本部事務局に提出することができます。提言内容については、財政技術上の問題を考慮して実行の可能性が検討され、エコ・キャンパスの諸活動や環境マネジメントシステムに反映されます。

## 環境関連情報や 苦情問い合わせ

学内外からもたらされる環境関連情報や、苦情、問い合わせは、エコ・キャンパス推進本部事務局において記録され、文書として適切な対応に努めます。これらの情報は、環境マネジメントシステムを継続的に改善していくための効果的な情報となります。

## 地球温暖化

ホームページで地球温暖化問題を考えて見ましょう!

<http://www.eic.or.jp/quiz/>

## 教育・研究

大学は、専任教員約1500名非常勤教員約2800名を擁して、様々な分野の教育・研究活動を繰り広げています。環境問題をあつかう授業も充実しており、100科目を越えています。ここでは特にオープン科目の中からの環境に関連した教育科目を紹介します。

2003年度  
オープン科目

地球環境問題に  
関連した科目

科目名	担当教員
「地球科学B」	川辺 文久
「化学」	土本 皓二
「総合講座Ⅵ(環境問題への諸相)」	北山 雅昭
「総合講座Ⅷ(宇宙・惑星・地球・生命そして人間)」	高木 秀雄
「地球システム総論」	円城寺 守
「地球システム概論」	小笠原 義秀
「環境化学」	小川 誠
「地域・地球環境論」	森川 靖
「環境情報科学」「地球環境システム論」	太田 俊二

# ゴミの分別と捨て方

## 紙類リサイクルボックス

ダンボール  
新聞紙・チラシ  
雑誌・本・カタログ



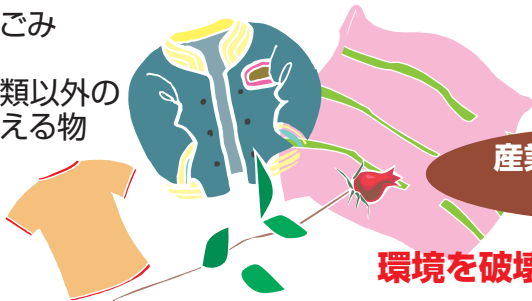
## ビン・カン

アルミ缶  
スチール缶  
ビン



## 燃やせるゴミ

生ごみ  
箸  
紙類以外の  
燃える物



産業廃棄物処分場に  
埋め立て

環境を破壊する可能性があります

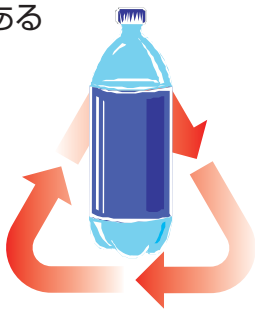
## 燃やせないゴミ

弁当ガラ  
ポリ容器  
菓子袋

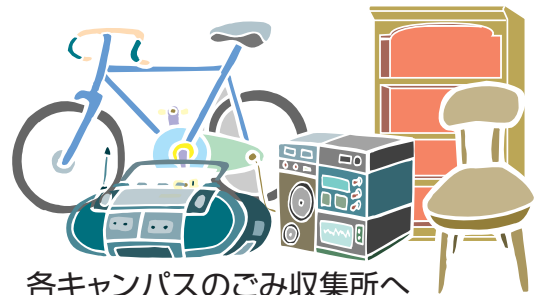


## PET製品

♻のマークのある  
ペットボトル

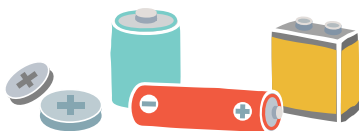


## 粗大ごみなど



各キャンパスのごみ収集所へ

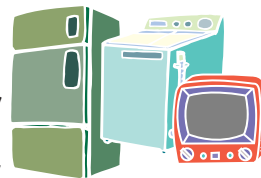
## 乾電池・充電電池



各キャンパスのごみ収集所か近くの事務所へ

## リサイクル対象品

TV  
冷蔵庫  
エアコン  
洗濯機  
パソコン



電器店へ



メーカーへ

### Eco Campus Fact Sheet 2003に関する問い合わせ先

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 早稲田大学エコ・キャンパス推進本部事務局  
電話:03-3204-9766 FAX:03-3203-7051  
E-mail:emshp@list.waseda.jp  
hp:環境への取り組み(早稲田大学トップページ)  
http://www.waseda.ac.jp/ecocampus/



WASEDA BEAR  
©Waseda Univ.



JQA-EM0878  
©Waseda Univ.



アメリカ大豆油協会認定 大豆油インキ使用



古紙配合率100%を意味しています